

第1回函南町環境審議会 会議録

[日 時] 令和4年12月5日(月)13時30分～14時50分

[場 所] 函南町役場 4階特別会議室

[出席者] 委員：(会長)八木戸委員、(副会長)森委員、鈴木(和)委員、柿島委員、
室伏委員、土屋委員、鈴木(敏)委員、鈴木(久)委員、岩田委員
町：仁科町長、大沼厚生部長、加藤環境衛生課長、芹田課長補佐、笠井係長、
株式会社日本環境工学設計事務所 稲村氏

[傍聴者] 1人

1. 開会

2. 挨拶

3. 委嘱状の伝達

4. 委員の紹介及び正・副会長の選出

会 長：八木戸 一重 様

副会長：森 洋子 様

5. 諮問書の伝達

6. 会議

<諮問事項>

- ・函南町環境基本計画(素案)について

【事務局、委託業者説明】函南町環境基本条例と函南町環境基本計画(素案)

【質問及び意見要旨】

委員	基本施策の課題に関連した環境指標を入れた方が良い。
事務局	事務局の方で改めて環境指標を立てさせていただきたい。
委員	函南町における現状の課題認識がない。総合計画を踏まえての環境基本計画だと理解はしているが、環境基本計画にも課題を記載した方が良い。
	国内外の環境に関する最新動向を踏まえて、町がどうしたいかというところを書いた方がより時代に合うものができる。
	上位にある総合計画の基本目標とこの基本計画の建付けを確認したい。
	望ましい環境像の「恵まれた環境」とは何なのかがわかりにくい。
	基本目標の4の環境を守り安心して暮らせるまちづくりというところで、防災・減災の観点があるかが見えにくい。
	計画全体について、SDGsということで環境社会、経済を謳っているが、町の経済のところでSDGs・ESG金融などをどのように考えているかを知りたい。
	基本施策の課題に関連した環境指標を入れた方が良い。

委員	町には保護区や鳥獣保護区があるので森林と農地の保全の中で里地里山をどうするかということ、保護区と一体的に管理していくことが大事である。環境や資源を「使う」「守る」という視点が重要と考える。
	環境教育のところを充実してほしい。最近ではE S Dが主流になっているので、そのような環境教育やSDG s 教育の視点もある。
	環境問題で大事なことは、広域展開と時間軸である。周辺自治体とのネットワーク、国際展開をどうするのか。将来の世代に何を残していきたいのかがあると良い。
	函南町の水質について、評価の基準がわからない。函南町の水質は問題ないと考えるだけの説得力のあるものを提示できるとよい。
	函南町の二酸化炭素排出量は減っているということで、これだけの数値を示すならば、中身まで示した方が説得力のあるものになると思う。
事務局	1つ目の函南町の現状、課題、問題の現状というところでは、再度事務局の方で修正をさせていただきたい。
	2つ目の最新の法律等については、現状はこういうものがあり、町としてできることとできないことがある。その中で現状と社会情勢、町の環境基本計画ではどのような取り組みをしていくべきか、どういった方向性を示したいか、検討しているものかというところも提示をしていきたい。
	3つ目の総合計画と環境基本計画の整合性について、総合計画が上位計画になっているので、総合計画で謳われている環境部門のことについて、環境基本計画で内容を示す形になる。総合計画の中から抜粋し掲載する。
	恵まれた環境の恵まれたとは何かというところは、事務局の方で示していきたいと思っている。
	SDG s のほかE S G 金融や、環境教育、環境指標については事務局の方で精査をした中で、修正案で提示させていただきたい。

7 その他

- ・意見記入表について

FAX、メール、郵送、環境衛生課窓口へ持参等により、12月16日(金)までに提出していただくよう依頼。

- ・今後の予定について

第2回環境審議会を1月中旬、第3回環境審議会を2月下旬、その間にパブリックコメントの実施予定を説明。

8 閉会

以上